

AUTOMATIC VENDING MACHINE SYSTEM

Publication number: JP8153248

Publication date: 1996-06-11

Inventor: KATO HIDEAKI

Applicant: SANYO ELECTRIC CO

Classification:

- international: G07G1/14; G07F7/02; H04Q7/38; G07G1/14;
G07F7/00; H04Q7/38; (IPC1-7): G07F7/02; G07G1/14;
H04Q7/38

- European:

Application number: JP19940295323 19941129

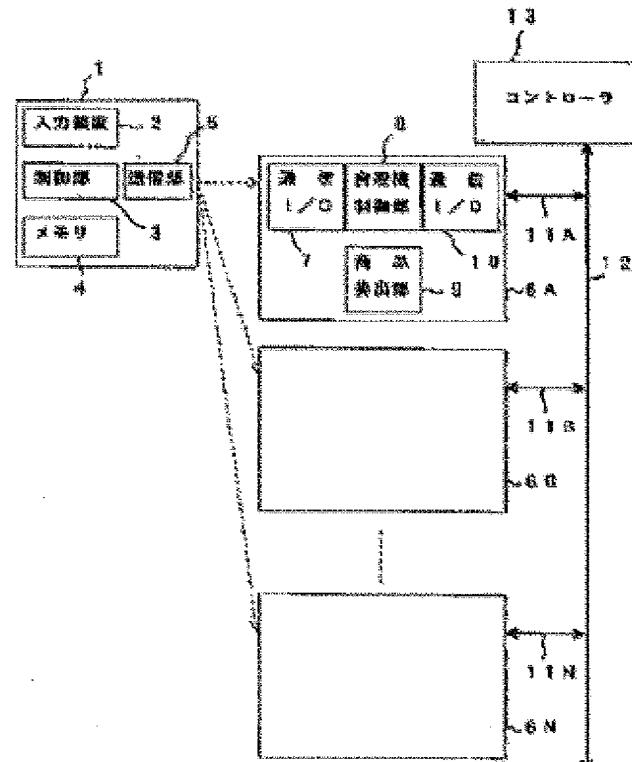
Priority number(s): JP19940295323 19941129

[Report a data error here](#)

Abstract of JP8153248

PURPOSE: To construct a deferred payment type automatic vending machine system capable of utilizing a portable telephone terminal set in place of a conventional ID card.

CONSTITUTION: Transmission information is inputted to a portable telephone terminal set 1 by a code input means 2. The transmission information includes a personal identification (ID) code capable of identifying an individual user and an automatic vending machine specifying code specifying an automatic vending machine. The transmission information inputted to the equipment 1 is transmitted from a transmitting means 5 to one or plural automatic vending machines 6A to 6N as a radio signal. Each of the machines 6A to 6N receives the information with a receiving means 7 and the automatic vending machine specified by the automatic vending machine specifying code included in the received information transfers the personal ID code from an information transferring means 10 to a controller 13. The controller 13 judges the transferred personal ID code with a judging means and returns a vending permission signal to the vending machine from which the ID code has been transferred.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-153248

(43)公開日 平成8年(1996)6月11日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号 庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 07 F 7/02

Z

G 07 G 1/14

H 04 Q 7/38

H 04 B 7/26

109 S

審査請求 未請求 請求項の数1 O.L (全5頁)

(21)出願番号

特願平6-295323

(22)出願日

平成6年(1994)11月29日

(71)出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

(72)発明者 加藤 秀明

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三
洋電機株式会社内

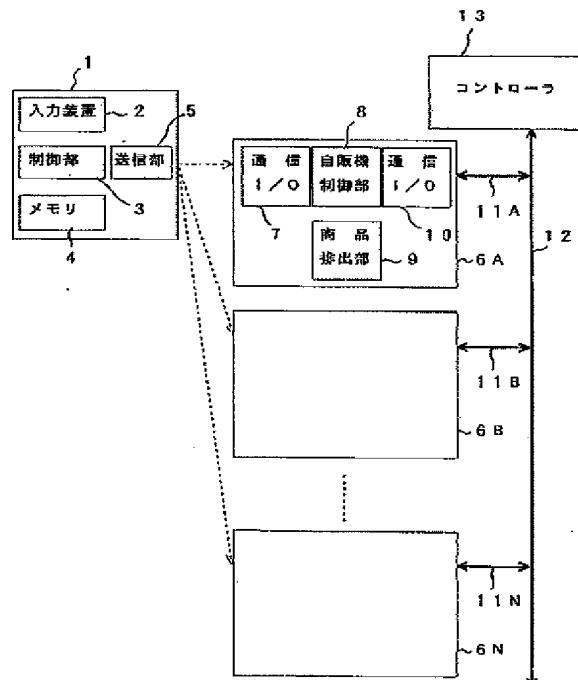
(74)代理人 弁理士 岡田 敏

(54)【発明の名称】 自動販売機システム

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 従来のIDカードの使用を廃し、携帯電話端末機を利用した後払い方式の自動販売機システムを構築する。

【構成】 コード入力手段2により携帯電話端末機1に送信情報を入力する。送信情報は、利用者個人を識別可能な個人識別コードおよび自動販売機を指定する自動販売機指定コードを含む。携帯電話端末機1に入力された送信情報は、送信手段5により無線信号で一台または複数台の自動販売機6A～6Nに送信される。各自動販売機6A～6Nでは、受信手段7により送信情報を受信し、受信された送信情報の自動販売機指定コードによって指定された自動販売機は、情報転送手段10により個人識別コードをコントローラ13に転送する。コントローラ13は転送された個人識別コードを判定手段により判定し、販売許可信号を個人識別コードを転送してきた自動販売機に返信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯電話端末機と、1台または複数台の自動販売機と、前記1台または複数台の自動販売機の動作を制御するコントローラと、を含み、前記携帯電話端末機は、利用者個人を識別可能な個人識別コードおよび自動販売機を指定する自動販売機指定コードを含む送信情報を入力する手段と、前記送信情報を無線信号で送信可能な送信手段とを有し、前記自動販売機は、前記送信情報を受信する受信手段と、前記自動販売機指定コードに対応する場合に前記送信情報を前記コントローラに転送する情報転送手段と、販売許可信号を受けて商品を排出する商品排出部とを有し、前記コントローラは、前記転送された個人識別コードを判定し、判定の結果、販売可能であるとき前記販売許可信号を前記自動販売機に送信する判定手段と、前記個人識別コードごとの販売金額を記録する記録手段とを有することを特徴とする自動販売機システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、PHS (personal handy system) 等の携帯電話端末機を利用した自動販売機システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来一般に、硬券IDカード (JIS-II型) を使用した料金後払式の自動販売システムが知られている (例えば、特開昭63-54695号公報、特開平2-202692号公報等参照)。

【0003】 この種の自動販売機システムでは、一般に、利用者個人あるいは会社等の利用者を特定しないしは識別するために磁気カード等のIDカードから自動販売機に設けられたカードリーダーを介してIDコードを読み取り、そのIDコードに基づいて販売許可や利用者等に対する売上金額を集計し、後日まとめて料金を請求し、利用者は後払いするシステムとなっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 上記従来の自動販売機システムでは、IDコードを入力するためには自動販売機専用のIDカード、あるいはその他の目的のために作られたIDカード (例えば銀行カード) を兼用したIDカード等を使用する必要がある。今日、種々のIDカードが氾濫しており、カード管理が煩雑になりつつある一方、最近では、携帯電話機の普及が著しい。携帯電話機も広範囲のエリアで通信可能なものから、狭いエリアながら安価で個人的な使用を目的としたいわゆるPHSも普及しつつある。

【0005】 これらの携帯電話機には、利用者の呼び出しや料金請求のための電話番号がIDコードとして設定されており、これらのIDコードを他の目的に流用することが可能である。また、携帯電話機の多くは記憶容量

に比較的余裕のある電話番号メモリを備えており、これらのメモリの一部をユーザ領域としての利用可能である。さらに、当然のことながら、形態電話機の信号送信方式は無線方式である。

【0006】 そこで、本発明は従来のIDカードの使用を廃し、携帯電話端末機を利用した自動販売機システムを構築することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するため、本発明は、携帯電話端末機と、1台または複数台の自動販売機と、前記1台または複数台の自動販売機の動作を制御するコントローラと、を含み、前記携帯電話端末機は、利用者個人を識別可能な個人識別コードおよび自動販売機を指定する自動販売機指定コードを含む送信情報を入力するコード入力手段と、前記送信情報を無線信号で送信可能な送信手段とを有し、前記自動販売機は、前記送信情報を受信する受信手段と、前記自動販売機指定コードに対応する場合に前記送信情報を前記コントローラに転送する情報転送手段と、販売許可信号を受けて商品を排出する商品排出部とを有し、前記コントローラは、前記転送された個人識別コードを判定し、判定の結果、販売可能であるとき前記販売許可信号を前記自動販売機に送信する判定手段と、前記個人識別コードごとの販売金額を記録する記録手段とを有して構成される。

【0008】

【作用】 本発明によれば、コード入力手段により携帯電話端末機に送信情報を入力する。送信情報は、利用者個人を識別可能な個人識別コードおよび自動販売機を指定する自動販売機指定コードを含む。携帯電話端末機に入力された送信情報は、送信手段により無線信号で一台または複数台の自動販売機に送信される。各自動販売機では、受信手段により送信情報を受信する。受信された送信情報の自動販売機指定コードによって指定された自動販売機は、情報転送手段により個人識別コードをコントローラに転送する。コントローラは転送された個人識別コードを判定手段により判定し、判定の結果、個人識別コードの利用者に販売が可能であるとき、販売許可信号を個人識別コードを転送してきた自動販売機に送信する。当該自動販売機は送信された販売許可信号に基づいて商品排出部より選択された商品を排出する。一方、コントローラは商品を販売した利用者の個人識別コードごとに販売金額を記録手段に記録し、後日の料金請求のためのデータとして保持する。このように、携帯電話端末機を通じて自動販売機による商品の販売が可能となり、かつ、販売料金の後払いが可能となる。

【0009】

【実施例】 次に、本発明の好適な実施例を図面に基づいて説明する。

【0010】 図1に本発明に係る自動販売機システムの

概要構成を示す。図1に示すように、この自動販売機システムは、携帯電話端末機としてのPHS1と、複数の自動販売機6A、6B、…6Nと、コントローラ13と、を備えて成る。

【0011】PHS1は、コード入力手段としてのキーボード等の入力装置2と、入力された送信情報を記憶するメモリ4と、当該PHS1の動作を統括的にコントロールする制御部を含む制御部3と、送信情報を電波信号に変換して出力する送信部5とを有している。

【0012】送信情報は、利用者（個人または会社）を識別可能な個人識別コードおよび自動販売機を指定する自動販売機指定コードを含む。個人識別コードとしては、例えば、当該携帯電話端末機に割り当てられた電話番号が利用可能であり、あるいは他人と明確に区別されるその他の番号や符号等を用いることができる。

【0013】自動販売機6Aは、PHS1とのインターフェイスをとる通信インターフェイス7と、当該自動販売機6Aの制御動作を統括的にコントロールすると共に必要な信号処理を行うマイクロプロセッサを利用した自販機制御部8と、この自販機制御部8とコントローラ13とのオンライン・インターフェイスをとる送信手段5と、メモリ4の制御下で商品を排出する商品排出部9と、を有している。他の自動販売機6B…6Nの構成も上記自動販売機6Aと同様であるので詳細な説明は省略する。

【0014】これらの自動販売機6A…6Nは、ローカルバス11A…11Nおよび通信データバス12を介してオンラインでコントローラ13に接続されている。自販機制御部8はコントローラ13と共に後述の制御アルゴリズム（図2参照）で自動販売機6Aを統括的な制御を行う。

【0015】コントローラ13は、マイクロプロセッサおよび必要なメモリを用いて構成され、内蔵するROMやRAM等のメモリ（図示せず）を参照し、通信データバス12およびローカルバス11A～11Nを介して自動販売機6A～6Nとの間でデータ転送を行い、後述の制御アルゴリズム（図2参照）で全体的な制御を行う。

【0016】次に、制御動作を説明する。

【0017】図2を参照して、まず、利用者がPHS1を利用する自販機番号を入力装置2によりセットする（ステップS1）。すると、制御部3はメモリ4内に格納されたIDコードを読みだし、このIDコードとおよび自販機番号を送信部5に送る。送信部5は、IDコードおよび自販機番号を伝播信号に変換して、無線で自動販売機6A～6Nに送信する（ステップS2）。

【0018】自動販売機6A～6Nでは送信されたIDコードおよび自販機番号を受信し（ステップS3）、通信インターフェイス7を介して自販機制御部8に通信インターフェイス10、ローカルバス11A～11Nおよび通信データバス12を介してコントローラ13に送

る。

【0019】コントローラ13はIDコードを受信し（ステップS5）、送信されたIDコードの判定を行う（ステップS6）。IDコードの判定とは、例えば、使用が禁止されたIDか否か等のセキュリティチェックも含まれる。判定の結果、問題がなければコントローラ13は販売許可信号を通信データバス12、ローカルバス11A～11N、通信インターフェイス10の経路で自販機制御部8に送信する（ステップS7）。

【0020】自販機制御部8は販売許可信号を受信し（ステップS8）、次いで商品の販売を許可すべく、例えば商品コラムの価格表示器を点灯する。ここで利用者が商品選択ボタンを押す（ステップS9）ことにより、自販機制御部8は選択された商品を当該自動販売機の商品ラックから搬出し、商品排出部9を通じて商品の排出を行う（ステップS10）。次いで、自販機制御部8は排出した商品の商品コードをコントローラ13に送信する（ステップS11）。

【0021】コントローラ13は商品コードを受信し（ステップS12）、当該商品を販売した自動販売機6A～6Nのいずれかに関して売上データの収集、記録を行い、後日の料金請求のデータに供する。

【0022】【発明の効果】以上の通り、本発明によれば、PHS等の携帯電話端末機により無線方式で指定された自動販売機、はコントローラとのデータのやり取りを通じて、携帯電話端末機のIDコードにより利用者が明確な状態で商品の自動販売が可能となり、従来のようなIDカードを使用することなく、後払い方式の自動販売機システムを構築することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の自動販売機システムの構成例を示すブロック図である。

【図2】本発明の自動販売機システムの動作例を示すブロック図である。

【符号の説明】

1 PHS

2 入力キーボード

3 制御部

4 メモリ

5 送信部

6 A～6 N 自動販売機

7 通信インターフェイス

8 自販機制御部

9 商品排出部

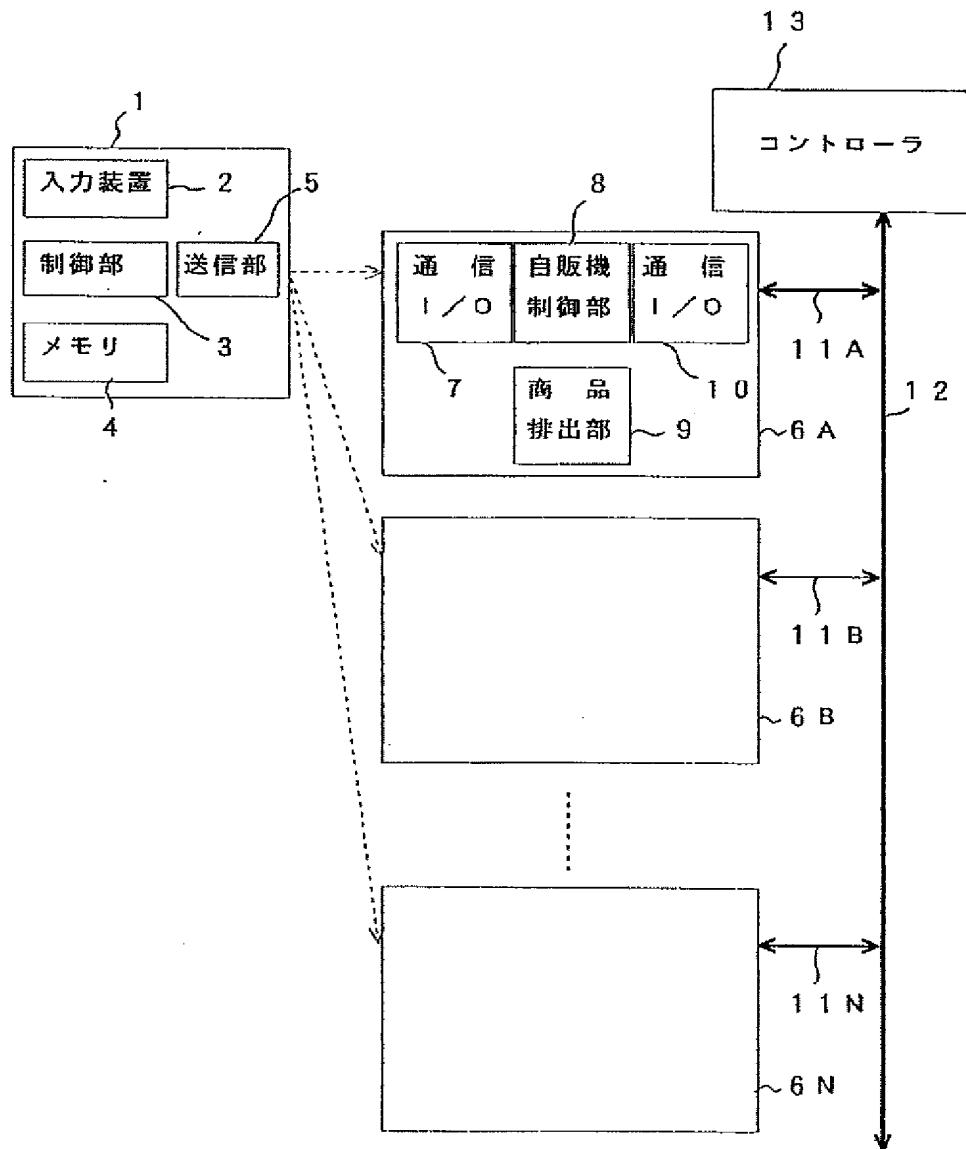
10 通信インターフェイス

11 A～11 N ローカルバス

12 通信データバス

13 コントローラ

【図1】



【図2】

